南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和２年１月号
担当（山田）
NO.86

生きがい

佐世保市にある相浦教会に橋口朝光神父様という主任司祭がおられましたが，昨年急死され，今月でちょうど1年になります。同郷の先輩であった神父様の訃報は大きな悲しみであり驚きでした。おそらく神父様ご自身も亡くなる前日まで自分が間もなく天に召されるなどと思いもしてはいなかったことでしょう。

橋口神父様を偲びながら，昨年神父様が新年にあたり「生きがい」というタイトルで信徒に寄せられた記事の後半を紹介したいと思います。

ところで皆さんは，「四人目の賢者」という映画を知っていますか。キリストの誕生の時，聖書には,東方の賢者たちが拝みに来たとありますが，この映画は，実は三人の他にもう一人彼らといっしょに拝みに行く予定の人がいて，その一人の男が人生の真の意味を生涯かけて探し求める内容のものです。少し紹介します。

そのもう一人の賢者はアルタバンといい，やはり占星術の学者でした。彼もあの三人の学者たちといっしょに出発するはずでした。しかし，迷いや家族の反対などがあって遅れ，それでも何とか財産をはたいてダイヤ，サファイヤ，ルビーの三つの贈り物を用意して，やっと出発しました。しかし，その後の彼の旅は，人生の真の意味を探し続ける旅となるのです。

彼が何とかベトレヘムに着いた時には，すでに聖家族はエジプトに逃れ，ヘロデの指示であの幼子たちが無残にも殺されているところでした。彼は，たまらず持っていた宝の一つを兵士に渡し，自分の目の前で殺されかけた幼子を助けます。聖家族がエジプトに避難したと聞き，彼は後を追いかけます。しかし，それも行き違いで，再び彼はエルサレムに戻りイエスを探しますが見つけることができません。それから十数年の月日が過ぎていくのです。その間彼は，ハンセン病の人が隔離された谷で彼らの治療をしながらイエスを探し続けます。医療の技術をもつ彼はハンセン病患者たちを見捨てることができなかったのです。彼は，大量の薬や包帯など用具を買うために，また大切な二つ目の宝物を使ってしまいました。

もう救い主のことなど諦めかけていた時，彼はイエスが十字架に架かり殺されるという話を聞きます。探していたあの人にやっと会える。彼は最後の一つの宝物でイエスを助けようとします。しかし，その時，彼の知り合いの商人が商売の取引に失敗し，一人娘がその代償として奴隷として売られようとする場面に出くわします。彼は迷い,悩み,苦悩します。これはイエスを助けるための最後の宝物。しかし，あの娘は奴隷をして売られていく。彼は，目の前の娘を助けるためにとうとうその最後の宝物を使ってしまいました。やっと娘を買い戻し，戻って来てイエスの方に目を向けた時，イエスはゴルゴタの丘で十字架に架かっていたのです。

彼は，すべてが終わりすべてが無駄に終わってしまったと思いました。しかし，一人打ちひしがれて岩陰で泣いているところに，復活したイエスが現れるのです。「お前は今までずっと私といっしょに居たんだよ。お前がこれまでずっとしてきたこと，それは全部私にしてくれたことなんだよ。」イエスのこの言葉に彼は報われ，そして安らかにその生涯を終えていくのです。

一人の男が人生の真の意味を生涯かけて探し続けた旅。それはまた彼の「生きがい」を追求した旅でもありました。そして，神様を求める生き方は必ず報われることをわたしたちに示すものでした。

信仰の光によって歩むわたしたちの旅の一年がまた始まりました。「生きがい」のある一年にしたいものだと思います。どうぞ良い年になりますように。

世界こども助け合いの運動

「世界こども助け合いの運動」は，「子どもたちが子どもたちを助ける」をモットーに1843年にフランスの教会で始められました。一日一度のアヴェ・マリアの祈りと毎月の小さな犠牲によって，自分たちとは異なる環境に置かれた世界中の恵まれない子どもたちに支援の手を差し伸べようというものです。現在では，この運動は全世界に広がり，カトリック教会のみならず，カトリック系の学校，幼稚園，保育園などの児童生徒や園児からも支持されるようになってきました。もちろん，保護者の温かい理解のもとに行われているものです。

南山小学校でも，毎年，お正月にもらったお年玉やお小遣いの中から自分たちにできる範囲で献金の協力をしています。今年度集められた南山小学校の献金の総額は，１０９８１３円でした。

幼い子どもたちが示す神様への愛・仲間に対するいつくしみの心・互いにゆるし合い・受け入れ合う心の大きさに触れる時，様々なしがらみを背負って生きている大人にはなかなか真似できないなと実感させられることが多々あります。

「世界こども助け合い」の献金は終わりましたが，一日に一度アヴェ・マリアの祈りを唱えること，毎月小さな犠牲を捧げることなど素朴で純粋な愛の行いを続けることによって，世界中の恵まれない友達にも目を向けることのできる心のやさしい南山っ子に成長してもらいたいと思います。

♧♧ 教 室 紹 介 ♧♧

２年１組　担任　濵﨑　晴美 先生

①神様に心を向けて静かにお祈りしよう
②話を最後まで聞き，よく考えよう
③友達を思いやり，仲よく助け合おう

時々はこの３つの学級目標を忘れてしまうこともあるくらいに，とにかく元気いっぱいでパワーに溢れた２年１組の子どもたちです。

元気いっぱいのパワーの他にも２年１組には宝物があります。先生がよく読んでくれる本の読み聞かせの時の集中した静けさです。持ち前の元気さが嘘のように静まり返りお話の中に入り込んでいきます。３学期になってからは宝物がまた一つ増えました。みんなで頑張って取り組んだなわとび検定の中で，前とび１分間を全員が合格したことです。全員合格はなかなかできることではありません。立派な宝物です。

２月の学習発表会では，英語劇「Momotaro」を発表します。発音の難しい部分もありますが，元気いっぱいに演じられるように２組のお友達とも力を合わせて準備しています。

♪アーメン　ハレルヤ

１．せかいのみんな きょうだいさ
はなすことばが ちがっても
主にむかうこころは
みんなおなじ こどもだから　※

２．せかいのみんな ともだちさ
はたらくばしょが ちがうけれど
主にむかう こころで
ひとつになって 分かつちから　※

※アーメン ハレルヤ（４回くり返し）